

## 【 無料ダウンロード資料 】

### 社労士試験の勉強法

## データ分析！社労士試験の「難化傾向」 と本試験対策

※約5分で読めます

社労士試験の合格率が「**毎年5～6%**」で推移している理由があります。

それは、試験問題が単に難しいからではありません。

本レポートでは、私が過去の資料をもとに数値化した客観的なデータから「合格戦略」をお伝えします。

## データで見る「合格率5%」の正体と足切り

過去のデータを見ると、100人受けて合格するのは「5人前後」です。

だれが見ても難しく感じますが、合格ラインのデータを見ると別の側面が見えます。

●選択式：40点満点中、23点～27点  
(5割強～6割強)

●択一式：70点満点中、43点～45点  
(6割弱～6割中)

例年どちらも「約6割前後」の得点で合格ラインに達します。1科目ごと満点を目指す必要はありません。

では、なぜ合格率がこれほど低いのか。その最大の要因は「選択式の1点の壁」です。

合格できる実力者たちが、たった1科目の基準点未達で不合格になっているからです。

## 択一式が「難化」している決定的な理由

近年、択一式が難しくなっている証拠は、明確に数値化できます。理由は大きく2つあります。

### ① 圧倒的なページ数（文字数）の増加

平成21年から令和6年まで、択一式のページ数が増え続けています。

年度	回数	ページ数
平成21年	第41回	58ページ
令和3年	第53回	68ページ (H21比 +10)
令和6年	第56回	66ページ (H21比 +8)

単純にページ数が増えれば文字数も増えますが、試験時間は3時間30分と変更されていないことが、択一式を難しくしている要因の1つです。

## ② 「個数問題」と「組合せ問題」の増加

平成24年から組合せ問題、平成26年から個数問題が出題され始めました。

出題形式	R3	R4	R5	R6
組合せ問題	5問	5問	5問	10問
個数問題	3問	3問	4問	6問

【戦略：解く順番を決める】

**(優先) 組合せ問題**：1つ正解を見つけると、選択肢も2～3個に絞られます。解きやすい出題形式なので、すぐに解答します。

個数問題：解く順番として、**個数問題は後回し**になります。ほかの問題と同じ1点なのに、5肢すべて正誤を判断するので、単純に難易度が高いからです。

## 最大の鬼門！選択式「労一」で3点を死守するコツ

一般常識として出題される「選択式の労一」など、勉強していない範囲から出題され、基準点未達になり不合格になるケースが多発します。

労一对策として有効な対策としては、「**労働統計用語**」を覚えることです。

基本的な労働統計用語を覚えるだけで、苦手意識をかなりなくすことができます。

また、「主要な統計調査」の意味を理解しておくことも大切です。これらを効率よく学ばた

めに、独立行政法人 労働政策研究・研修機構の『労働統計のあらまし』というPDFデータを活用するのがおすすめです。

## 過去問分析の最強ツール

過去に出題された社労士試験の本試験問題をすべて「PDF」で見られるサイトがあります。

それが「**社会保険労務士本試験資料館**」です。

ここを活用することで、1肢1肢の長文化やページ数の増加など、試験形式の変化を実感し、今後の試験傾向を把握することができます。

## まとめ

各科目ごと「**6割**」を安定して得点できる知識を身に付けること。そして、**個数問題は後回しにする**など、受験テクニックを駆使することが合格への近道です。

下記も、本試験に向けた勉強法として、ぜひご覧ください。



## 参考記事はこちら

---

クリック→[【社労士 過去問 pdf！】本試験問題が見れるおすすめサイト](#)

クリック→[【社労士 労一 対策！】選択式の勉強は広く浅くがポイント](#)

クリック→[【社労士試験難易度！】社労士試験が難しい | 合格率が低い本当の理由](#)

しゃろうむ